

令和4年度 北信越総合競技大会
相撲競技大会 新型コロナウイルス感染症対策について

- ※ マスクの持参・競技中以外はマスクの着用を義務とします。
- ※ 「密」にならない行動を心がけてください。
- ※ 声を出しての気合い入れや応援は控える。

【大会について】

- ・賞状・優勝カップについては、大会終了後に各校で持ち帰る。
- ・大会日程については、要項及びプログラムを参照。
- ・大会中は各校でアルコール等を持参し、選手や使用箇所を適切に消毒する。
- ・大会終了後、各学校で使用した場所の清掃、消毒を行う。

【大会への参加について】

- ・参加者は、（別紙1）体調記録表を記入する。選手、監督、コーチは学校単位で管理をする。大会役員等は、当日受付にて提出する。
- ・参加者（各学校顧問）は、（別紙2）学校同行者体調記録表にまとめ記入し、競技専門部に（別紙2）のみ提出する。万が一、感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意して、長野県中体連相撲競技専門部で大会終了後、1ヶ月間保存する。
- ・試合に関わる全ての者（大会役員、審判、指導者、選手）は、大会前後1週間分（計2週間分）の行動を行動履歴書（別紙4）に記録する。
- ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 1. 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 2. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 3. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・予備のマスクを持参することとし、参加受付時や着替え等の競技を行っていない際や、会話する際にはマスクを着用すること。
- ・会場（土俵周辺）に入場できるのは、監督もしくはコーチ1名と生徒は、出場選手のみとする。（団体戦・選手3名、個人戦・当該選手のみ）
- ・選手は取り組み直前までマスクを着用する。
- ・マスクを外す場合は、土俵にあがる（相撲の取り組み）時のみとする。マスクの管理については、各自、各チームで確認しておく。
- ・他の参加者、大会役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。

- ・各チームの控え場所を指定する。（監督会議にて配付予定の座席表参照）。
- ・飲食をするときには、一方方向を向いて食べる。昼食時の会話を避ける。（車座や向かい合って食事をしない）
- ・大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、各学校、県中体連相撲専門部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ・大会の前後のミーティングにおいても、3つの密を避けること。
- ・取り組み後には、各自で消毒する。

☆以上これらのことを遵守できない参加者（監督、コーチ、大会役員等含む）には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

【そのほかの注意事項・共通理解について】

- ・有観客での開催とします。
- ・生徒、顧問等は、土俵周辺（観客席）では間隔を開けて座り、マスクをつけて観戦する。
- ・試合中の声を出しての応援は控える。
- ・コーチングについては、監督、コーチはマスク着用で大声にならないよう注意する。
- ・手洗い・うがいを頻繁に行うこと。試合の前後、練習の前後には、必ず手洗いまたはアルコール消毒を行うこと。
- ・着替え等は、密にならないよう気をつける。
- ・選手は、試合中・ウォーミングアップ中以外は、マスクを必ず着用すること。ただし、熱中症や酸素不足の危険がある場合には、距離を確保してマスクを外すこと。
- ・手洗いするときは、各自でタオルを準備すること。
- ・各自ごみ袋を準備し、鼻水、唾液などが付いた物を含むごみは、密閉し各自で持ち帰ること。（ゴミの持ち帰り。マスクを捨てない。）
- ・各学校で準備する物
 - ①消毒用のアルコール等
 - ②ゴミ袋